

NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引き

■ 概要

エクスプレス通報サービスは、Express5800 シリーズのサーバやワークステーションおよび周辺装置のアラーム通報を、監視センターで 24 時間 365 日監視し、障害の発生をいち早く検出しお知らせするサービスです。

エクスプレス通報サービスは 2 つのご提供形態があります。

①ハードウェアメンテナンスサービス(契約型/パック型)に添付

②Express5800 シリーズのサーバおよびワークステーションの無償保証期間の初年度に無償提供(1年間)

※Express5800 シリーズにバンドルされているエクスプレス通報サービス(1年間)は、2025 年 9 月末でサービス提供を終了しました。

(サービス提供対象を 2025 年 9 月末までにご購入された製品とさせていただきます。サービス提供期間はご購入日から 1 年間となります。)

有償のエクスプレス通報サービス(保守契約または、サポートパックに含まれるサービス)は、これまで通り継続いたします。

障害通報から迅速に保守作業/復旧作業に移るために、①ハードウェアメンテナンスサービス(契約型/パック型)をご契約頂くことをお奨めします。

ここでは、エクスプレス通報サービスをご利用頂くにあたって、導入や操作の手順、留意事項などについて説明します。

《参考》 [エクスプレス通報サービス](#)

■ 開局までの流れ

ステップ	説明
① <u>通報サービスの申し込み</u>	ご利用には申し込みが必要です。保守契約の形態により申込方法が異なります。
② <u>通報方式の選択</u>	各種通報方式から、ご利用環境やご要望に合わせて選択してください。
③ <u>環境準備</u>	通報サービス利用に必要なシステムやネットワークの環境を整備します。
④ <u>関連ソフトウェア準備</u>	必要なソフトウェアをインストールし、設定を行います。
⑤ <u>開局作業</u>	準備が整い次第、サービスの開局作業を実施します。

① 通報サービスの申し込み

エクスプレス通報サービスをご利用いただくには、申し込みが必要です。申し込みの方法は、保守契約の形態などで異なります。

エクスプレス通報サービスの申し込み方法について

- 2018年11月6日以降に ExpressSupportPack、PlatformSupportPack を NEC サポートポータルにてご登録のお客様は、[「NEC サポートポータル」](#)よりお申込みください。
なお、SupportPack 登録後、内容確認に数日かかる場合があります。確認作業中は、エクスプレス通報サービスのお申込み画面に対象機器が表示されません。確認完了まで、お待ちいただけますようお願いいたします。
- 2018年11月5日以前に ExpressSupportPack、PlatformSupportPack をご登録済みのお客様は、NEC エクスプレス受付センターまでご相談ください。
- ExpressSelectionPack(型番上2桁が NP)の場合、保守契約およびサポートパックの製品登録は、保証書に記載のサーバ本体の型番(型番上2桁 N8)を使用してご登録ください。(NP 型番では、NEC サポートポータルからエクスプレス通報サービスの申込みができません。)
- InterSec アプライアンスおよび InterSec アプライアンスソフトをご利用される場合、NEC サポートポータルからエクスプレス通報サービスの申込みができません。InterSec のエクスプレス通報サービスの申込みについては、NEC エクスプレス受付センターまでご相談ください。
- NEC Hyper Converged System for VMware vSAN のクラスタノードの HDD 障害通報は、ノード本体の HW 障害通報とは別に個別の申込みが必要になります。申込みについては弊社営業にご相談ください。
- iStorage V シリーズの障害通報を仮想環境上のストレージ管理サーバから通報する場合、個別の申込みが必要になります。申込みについては弊社営業にご相談ください。
- 保守契約を申し込みのお客様は、販売店あるいは弊社営業窓口へご相談ください。(2018年11月6日以降に保守契約した場合、お客様が NEC サポートポータルからエクスプレス通報サービスを申込みすることも可能です。)

[開局までの流れ先頭に戻る](#)

② 通報方式の選択

お客様の環境・目的に応じて、通報手段と通報ルートが選択できます。

②-1 通報手段の選択

検討フロー[\[クリック\]](#)

(A) HTTPS 通報(推奨)

HTTPS 通信にて通報する方法となります。サーバ診断カルテを追加することが可能です。

インターネット環境が必要となります。

[注意事項][\[クリック\]](#)

[ご案内]サーバ診断カルテについて [\[クリック\]](#)

(B) メール通報

メールにて通報する方法となります。

インターネット環境、メール環境(メールサーバまたはプロバイダ契約)が必要となります。

[注意事項][\[クリック\]](#)

(C) ダイアルアップ通報

モデムにて監視センターに接続し通報する方法です。

モデムと電話回線が必要となります。

[推奨モデム][\[クリック\]](#)

②-2 通報ルートの選択

検討フロー[\[クリック\]](#)

ESMPRO/ServerAgent または ESMPRO/ServerAgentService(以下、ESMPRO/SA)から通報する方法と ESMPRO/ServerManager(以下、ESMPRO/SM)から通報する方法があります。

(i) ESMPRO/SA から通報

対象サーバの ESMPRO/SA から通報する方法です。

(ii) ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由での通報

対象サーバの ESMPRO/SA から管理マシン(サーバもしくは PC)の ESMPRO/SM に集約して通報する方法です。「(C) ダイアルアップ 通報」においては 1 台のモデムにて通報可能です。WebSAM AlertManager(有償)が必要となります。「(iii)MG 通報」との併用も可能です。

(iii) MG 通報

BMC(EE3,iLO)等の管理用コントローラから ESMPRO/SM 経由で通報します。VMware ESXi5 以降(ft サーバを除く)や SIGMABLADE、お客様都合で ESMPRO/SA をインストールできない場合に選択します。BMC から通報するため、OS 起動前の状態でも通報可能となります。

②-3 対象機器による制限

下記が監視対象の場合には通報手段および通報ルートに制限・注意事項があります。

- ・Express5800/D120h,T120h,R120h-1E/2E/1M/2M/1M(2nd-Gen)/2M(2nd-Gen),R110j-1,T110j,T110j-S の留意事項 [\[クリック\]](#)
- ・RAID を構築しない構成に関する留意事項[\[クリック\]](#)
- ・NEC Hyper Converged System for VMware vSAN[\[クリック\]](#)
- ・N8103-237/238/239/240/243/244/245/246/247/248/249/250/251/252,NE3303-237/238/239/243/244/245/246/247 を搭載した ESXi 環境での留意事項[\[クリック\]](#)
- ・N8103-189/190/191/192/193/194/195/196/201,NE3303-190/191/201 を搭載した ESXi 環境での留意事項[\[クリック\]](#)
- ・RAID 通報サービスに関する留意事項[\[クリック\]](#)
- ・VMware ESXi 5 以降(ft サーバを除く)[\[クリック\]](#)
- ・SIGMABLADE(EM カード)[\[クリック\]](#)
- ・ft サーバ[\[クリック\]](#)
- ・UPS(無停電電源装置)[\[クリック\]](#)
- ・iStorage M シリーズ[\[クリック\]](#)

- ・iStorage V シリーズ[\[クリック\]](#)
- ・iStorage NAS オプション[\[クリック\]](#)
- ・iStorage T シリーズ[\[クリック\]](#)
- ・iStorage HS シリーズ[\[クリック\]](#)
- ・予備系に切り替わるシステム[\[クリック\]](#)
- ・高可用性サーバ(R31Aa,R32Aa)[\[クリック\]](#)

ESMPRO/SA, ESMPRO/SM については、下記 ESMPRO サーバ管理ガイドを参照ください。

《参考》 [ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent ドキュメント](#)

ESMPRO サーバ管理ガイド(ESMPRO/SM Ver.5 向け)

ESMPRO サーバ管理ガイド(ESMPRO/SM Ver.6 向け)

ESMPRO サーバ管理ガイド(iLO 搭載装置向け)

[開局までの流れ先頭に戻る](#)

③ 環境準備

上記の通報方式の選択結果に応じて、必要な機器、ソフトウェア等、環境の準備を行ってください。

通信手段別

- (A) HTTPS 通報: インターネット環境
- (B) メール通報: インターネット環境、メール環境
- (C) ダイヤルアップ通報: モデム、電話回線

通報ルート別

- (i) ESM/SA 直接通報
- (ii) ESM/SM 経由通報: 中継マシン(OS:Windows)、WebSAM AlertManager(有償)
- (iii) MG 通報: 中継マシン(OS:Windows)

(注意)

- ・中継マシン経由(上記(ii)SM 経由通報および(iii)MG 通報)の場合、監視対象装置と中継マシンは LAN スイッチまたはハブを経由して接続してください。(LAN クロスケーブルによる直結はできません。)
- ・中継マシンは、仮想環境(ゲスト OS)もご利用いただけます。ただし、(C)ダイヤルアップ通報をご利用の場合には、モデムをシリアルポートに接続する必要がありますので、物理マシン(非仮想環境)を準備してください

機器別(上記以外に必要なもの)

- ・サーバ本体(VMware ESX4 の場合): ESM/ServerAgent for VMware(有償)
- ・サーバ本体(VMware ESXi5 以降の場合): VMware Host Client
- ・UPS: ESM/UPSManager(有償)または ESM/AutomaticRunningController(有償)
- ・iStorage M シリーズ: WebSAM iStorageManager(有償)
- ・iStorage V シリーズ(仮想環境上のストレージ管理サーバ経由の場合): ESM/ServerAgent for Guest OS(有償)

[開局までの流れ先頭に戻る](#)

④関連ソフトウェアの準備

選択された通報方式に応じて、必要なソフトウェアを監視対象マシンあるいは中継マシンにインストールしてください。インストール手順やモジュールについては、下記を参照いただき、EXPRESSBUILDER または Starter Pack かダウンロードサイトの最新版を利用いただけますようお願いいたします。なお、Windows および Linux プリインストール・モデルでは、ESMPRO/SA および通報サービスモジュールがインストール済となっており、ESMPRO/SA から通報する場合は、インストール済のモジュールが利用できます。但し、ダウンロードサイトに各種機能強化等が行われた最新版を掲載していますので、最新版をインストールして使用することを推奨します。

エクスプレス通報サービスで利用されるサービス・プロセスの一覧を以下に示します。ESMPRO/SA、ESMPRO/SM で利用するサービスについては、それぞれのインストレーションガイドに記載されています。これらのサービス・プロセスがブロックされないよう、セキュリティ対策ソフトなどの設定をご確認ください。

エクスプレス通報サービスで利用するサービス・プロセス一覧

[Windows 版](#)

[Linux 版](#)

プロセス情報

また、エクスプレス通報サービス、ESMPRO/SA、ESMPRO/SM で利用される LAN のポート番号が、インストレーションガイド等に記載されています。それらのポート番号がブロックされないよう、ファイアウォールの設定をご確認ください。

《インストール手順およびモジュール・ダウンロード》

通報ルートと OS の組合せによる分類

- (1) ESMPRO/SA 直接通報で OS が Windows 系の場合[\[クリック\]](#)
- (2) ESMPRO/SA 直接通報で OS が Linux 系の場合[\[クリック\]](#)
- (3) ESMPRO/SA 直接通報で VMware ESX4 の場合[\[クリック\]](#)
- (4) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Windows 系の場合[\[クリック\]](#)
- (5) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Linux 系の場合[\[クリック\]](#)
- (6) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、VMware ESX4 の場合[\[クリック\]](#)
- (7) MG 通報で 監視対象が VMware ESXi5 以降のサーバ(100 シリーズ)の場合[\[クリック\]](#)
- (8) MG 通報で 監視対象が EE3((7)以外)搭載装置の場合[\[クリック\]](#)

対象装置別

- (9) 監視対象が FT サーバ(300 シリーズ)の場合[\[クリック\]](#)

- (10) 監視対象が NX7700x シリーズの場合[\[クリック\]](#)
- (11) 監視対象が SIGMABLADE の EM カードの場合[\[クリック\]](#)
- (12) 監視対象が iStorage M シリーズの場合[\[クリック\]](#)
- (13) 監視対象が iStorage T シリーズの場合[\[クリック\]](#)
- (14) 監視対象が NAS オプションの場合[\[クリック\]](#)
- (15) 監視対象が UPS の場合[\[クリック\]](#)
- (16) 監視対象が NEC Hyper Converged System for VMware vSAN の場合[\[クリック\]](#)
- (17) 監視対象が iStorage V シリーズの場合[\[クリック\]](#)
- (18) 監視対象が 高可用性サーバ(R31Aa,R32Aa)の場合[\[クリック\]](#)

[開局までの流れ先頭に戻る](#)

⑤ 通報モジュールのインストール・開局作業・通報確認

エクスプレス通報サービスの運用を始めるには、開局キーファイルもしくは開局キーコードを使用した開局作業が必要になります。

2018年11月5日以前にWebから申込みを行った場合には、電子メールでダウンロードサイトのご案内が通知されますので、開局キーファイルをダウンロード願います。

書類による申込みを行った場合、NEC エクスプレス受付センターからCD媒体が郵送されます。

2018年11月6日以降に「[NEC サポートポータル](#)」から申込みを行った場合は、開局キーコードが表示されます。

販売店もしくは弊社営業窓口経由で申込みを行った場合、NEC エクスプレス受付センターからCD媒体郵送、もしくは販売店もしくは弊社営業窓口経由またはNEC サポートポータルにて開局キーコードが提供されます。

開局作業手順については、下記のインストレーションガイドを参照ください。開局作業が終了しましたら、必ず、開局通報を行い、開局完了メールの受信を確認してください。(開局通報が成功しないと、エクスプレス通報サービスの運用が開始されません。)

《注意》 HTTPS 通報の場合、最新のプログラムの適用が必要です[\[クリック\]](#)

《注意》 ESMPRO/SM 装置で集約して通報する場合、通報モジュールの最新化が必要です [\[クリック\]](#)

《注意》 通報サービスプログラムと ESMPRO/SA・SM の最新化を推奨します。[\[クリック\]](#)

開局手順

(19) ESMPRO/SA からの通報で、開局作業対象が Windows マシンの場合[\[クリック\]](#)

(20) ESMPRO/SA からの通報で、開局作業対象が Linux/VMware(ESX)マシンの場合[\[クリック\]](#)

(21) MG 通報の場合[\[クリック\]](#)

(22) 監視対象が NEC Hyper Converged System for VMware vSAN の場合[\[クリック\]](#)

(23) iStorage V シリーズのストレージ管理サーバ(Windows): 仮想サーバの場合[\[クリック\]](#)

[開局までの流れ先頭に戻る](#)

■ 開局後の通報履歴確認

開局キーコード方式にて開局されたお客様は、通報メッセージの履歴を「[NEC サポートポータル](#)」から確認できます。

- 1) お客様のユーザIDにてログイン後、
- 2) 『ホーム > サポート情報 > 通報履歴 > 通報履歴』にて、サポートID を選択後に[次へ]をクリックし、
- 3) 対象機器一覧にて、通報履歴表示を行う機器の「履歴」をクリックしてください。

開局キーファイルで開局された方、NEC ビジネス PC/PC サーバお客様登録サイト(ClubExpress)に機器登録された方は、NEC エクスプレス受付センターにお問い合わせください。

関連情報

「NEC サポートパック登録ホームページ」は[こちら](#)

NEC エクスプレス受付センター

E-mail(通報サービス関連): uketuke@express.jp.nec.com

受付時間: 月曜日～金曜日 / 9:00～17:00

※国民の祝日に関する法律に定める休日および NEC 所定の休業日は除きます。

■ 問い合わせ先

<<問い合わせ先>>

■ NEC エクスプレス受付センター

E-mail(通報サービス関連): uketuke@express.jp.nec.com

受付時間: 月曜日～金曜日 / 9:00～17:00

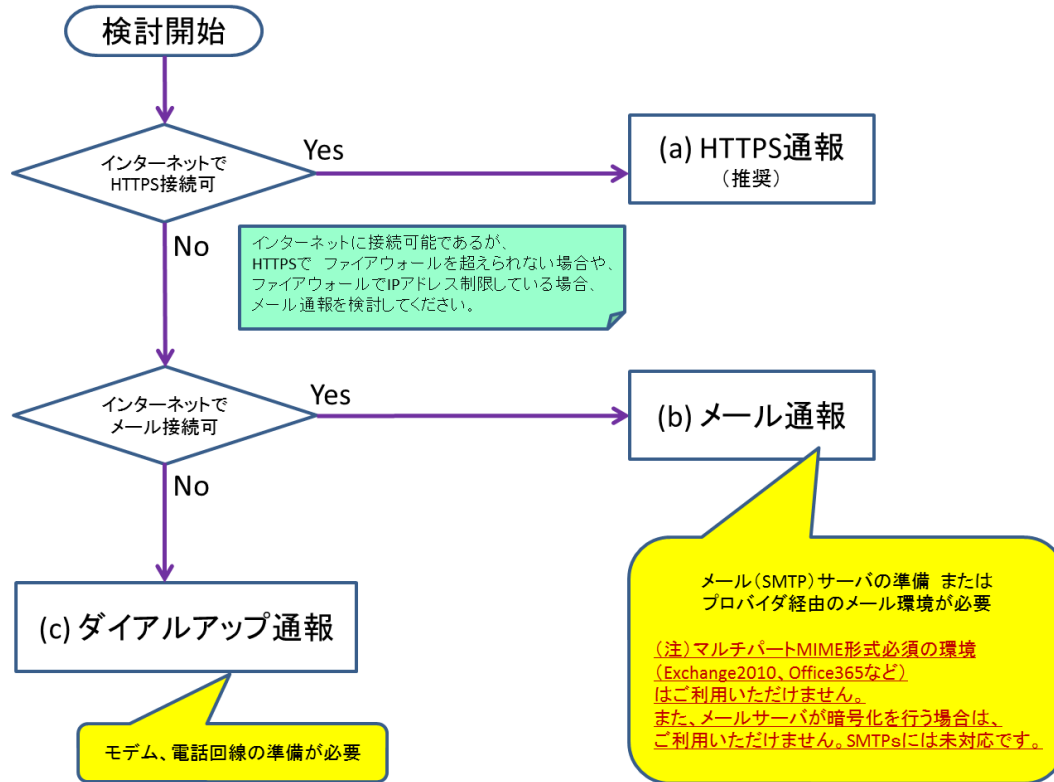
※国民の祝日に関する法律に定める休日および NEC 所定の休業日は除きます。

エクスプレス通報サービスに関して、よく寄せられる質問について回答をまとめました。お問い合わせしたい事項が掲載されていないか、ご確認ください。

[よくあるご質問\(FAQ\)](#)

<詳細説明>

検討フロー[\[戻る\]](#)



[\[注意事項\]](#)[\[戻る\]](#)

HTTPS でファイアウォールを超えられない場合や、ファイアウォールで IP アドレス制限をしていて変更できない場合にはご利用頂けません。プロキシサーバのユーザ認証は Basic 認証方式のみに対応しています。

[ご案内]サーバ診断カルテについて [\[戻る\]](#)

■サーバ診断カルテ について

対象のモデルにおいて、Windows 版エクスプレス通報サービス(HTTPS)または、エクスプレス通報サービス(MG)の HTTPS 通報をご利用の場合、サーバの稼働状況を月単位で確認いただける機能『サーバ診断カルテ』をご利用いただけます。

サーバ診断カルテでは、お客様システムの Express5800 サーバのハードウェアセンサ情報、リソース情報等をグラフや一覧で表示し、サーバの稼働状況を可視化します。

サーバ診断カルテは毎月1回提供します。当月分のサーバ診断カルテは、翌月15日迄にNECサポートポータルに掲載する方法にて提供します。(当初の名称:

Express 診断カルテは、サーバ診断カルテに移行しました)

ただし、下記の条件を満たす必要があります。

サーバ診断カルテご利用の条件:

- ExpressSupportPack G4 をご購入いただいているか、NECのハードウェアメンテナンスサービスの保守契約を締結済みである(NEC以外との保守契約の場合、NECフィールドイング直接契約の場合を含め、サーバ診断カルテはお申し込みいただけません。)
- OSが Windows Server または VMware ESXi
- 2018年11月6日以降に、NECサポートポータルでエクスプレス通報サービスをお申込みいただき、開局キーコードで開局している。
- エクスプレス通報サービス(HTTPS) または エクスプレス通報サービス(MG)の HTTPS 通報で開局されている(メール通報、モデム通報は対象外)
- 稼働状況の送信モジュールを、対象サーバのOSに応じて、下記よりダウンロードし、インストール済みである
- 対象モデルは、下記サイトでご確認ください。

[サーバ診断カルテ用モジュール\(Windows 対応版\)](#)

[サーバ診断カルテ用モジュール\(VMware ESXi 対応版\)](#)

サーバ診断カルテのお申込みに関するお問合せ先は、下記メールアドレスとなります。

お問合せ先: karute-uketuke@express.jp.nec.com

[注意事項][\[戻る\]](#)

次にあげるメール環境の場合ご利用頂けません。

- Exchange Server,Office365
- プロバイダの自動暗号化サービスなどの暗号化される場合
- Gmail 等の SMTPs(SSL 暗号化対応の SMTP)
- Firewallなどで MIME ヘッダをブロックしている場合(Sophos XG Firewall など)

[推奨モデム][\[戻る\]](#)

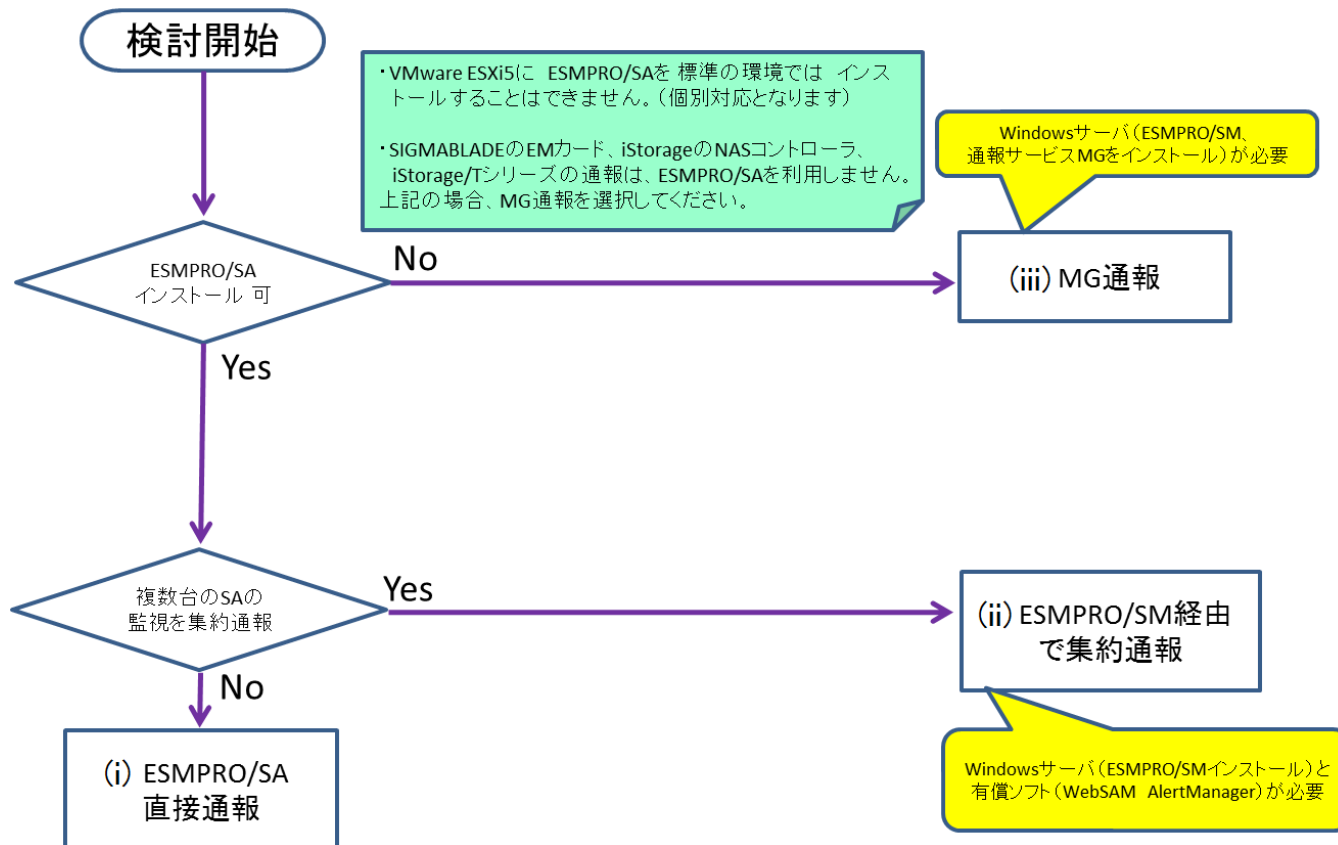
<<推奨モデム>>

■RS-232C接続タイプ (100 シリーズ/FTサーバ共通)

(注意)

- ・モデム通信に関して、テスト通報が正常に通報されることを確認しています。
ただし、モデムは NEC の動作保証の対象外です。お客様環境で動作確認された上で、ご使用ください。
- ・Windows 環境では、モデムベンダのサイトから最新版ドライバをダウンロードして使用してください。

検討フロー[\[戻る\]](#)



・Express5800/D120h,T120h,R120h-1E/2E/1M/2M/1M(2nd-Gen)/2M(2nd-Gen),R110j-1,T110j,T110j-S の留意事項 [\[戻る\]](#)

上記のモデルにおいて、以下の留意事項がございます。下記を参照いただき、ご対応いただけますようお願いいたします。

・エクスプレス通報サービス(MG)について

上記のモデルにおいては、エクスプレス通報サービス(MG)をご利用いただくためには、エクスプレス通報サービス(MG)のモジュールと管理サーバのESMPRO/ServerManager について、下記から最新版をダウンロードしインストールする必要があります。

[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

[エクスプレス通報サービス\(MG\) Express5800/D120h, T110j-S, T110j 向け Update モジュール](#)

[受信情報設定ファイル 等関連モジュール](#)

[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)について

上記モデルにおいては、エクスプレス通報サービスまたはエクスプレス通報サービス(HTTPS)をご利用いただくためには、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のモジュールとESMPRO/ServerAgentService について、下記から最新版をダウンロードしインストールする必要があります。

[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

[ESMPRO/ServerAgentService パッチ/修正モジュール](#)

・エクスプレス通報サービスの監視センターからの連絡について

上記モデルにおいては、エクスプレス通報サービスで 監視センターに通報が実施された場合でも、通報内容を解析した結果保守作業が不要と判断された場合、お客様への連絡は行われません。

・RAID を構築しない構成に関する留意事項[\[戻る\]](#)

HDD(または SSD)について、下記の RAID を構築しない単体構成で使用した場合、HDD(または SSD)の障害が発生しても、障害通報は発信されません。

・RAID コントローラを未搭載

・RAID コントローラに接続し論理ドライブを作成せず単体ディスクとして使用時

・RAID コントローラに JBOD ドライブとして接続

なお、障害時の被疑特定は装置情報収集ユーティリティ(collect.exe)を使用することで可能です。

・NEC Hyper Converged System for VMware vSAN[\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

エクスプレス通報サービスで 監視センターに通報が実施された場合でも、通報内容を解析した結果保守作業が不要と判断された場合、お客様への連絡は行われません

・N8103-237/238/239/240/243/244/245/246/247/248/249/250/251/252,NE3303-237/238/239/243/244/245/246/247 を搭載した ESXi 環境での留意事項[\[戻る\]](#)

iLO 搭載装置のエクスプレス通報サービス(MG)では、SNMP Trap 監視か IML 監視が選択可能です(エクスプレス通報サービス(MG)の受信情報設定ファイルで選択します)。

SNMP Trap は、IML より即応性が高いですが、通報対象のイベントに限られるため、一般には、IML 監視を推奨しております。

IML 監視を選択すると、N8103-237/238/239/240/243/244/245/246/247/248/249/250/251/252,NE3303-237/238/239/243/244/245/246/247 の障害通報は、エクスプレス通報サービス(MG)には通報されないため、起動の失敗などの障害発生時には、iLO5/6 WebUI(IML ログ)により手動で、確認いただく必要があります。

(ESMPRO/ServerManager(アラートビューア)には通知されます)

エクスプレス通報サービス(MG)への通報が行われない障害の場合、保守部門へのご対応(ご連絡)をいただく必要があります。

N8103-237/238/239/240/243/244/245/246/247/248/249/250/251/252,NE3303-237/238/239/243/244/245/246/247 のエクスプレス通報サービス(MG)への障害通報が必要な場合は、SNMP Trap を選択してください。

SNMP Trap 監視と IML 監視の両方を行った場合、重複したイベントが発生しますのでご注意ください。イベントについては下記サイトを参照してください。

[NEC iLO IML/SNMP Trap 一覧及び MIB ファイル](#)

詳細は、下記サイトを参照してください。

[RAID 監視通報方式について](#)

・N8103-189/190/191/192/193/194/195/196/201,NE3303-190/191/201 を搭載した ESXi 環境での留意事項[\[戻る\]](#)

RAID コントローラの FW バージョンが 4.11 以降の場合 RAID 監視通報は SNMP Trap による通報になります。

詳細は、下記サイトを参照してください。

[RAID 監視通報方式について](#)

・RAID 通報サービスに関する留意事項[\[戻る\]](#)

RAID 通報サービスの Ver1.0 Rev3459 では、下記の問題が生じますので、ご利用時に最新モジュールを適用ください。

- ・SSD 寿命が早く通知されてしまう [対象 OS: Windows/Linux]
- ・1.2TB 以上の SSD/HDD 搭載時に通報されなくなる [対象 OS: Windows]

対象装置> T120h,R120h-1E,R120h-2E,R120h-1M,R120h-2M,R120h-1M(2nd-Gen),R120h-2M(2nd-Gen)

入手先> 下記サイトの “アップデート” の中から、該当機種 of “RAID 通報サービス” の項を参照してください。

[Universal RAID Utility/RAID 通報サービス・Smart Storage Administrator サポート情報リスト](#)

・VMware ESXi 5 以降(ft サーバを除く)[\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

・SIGMABLADE(EM カード)[\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

・ft サーバ[\[戻る\]](#)

「(iii)MG 通報」には対応していません。

Linux および VMware 環境において「(i) ESM/SA から通報」で「(C) ダイアルアップ通報」の組み合わせには対応していません。

・UPS(無停電電源装置)[\[戻る\]](#)

「(iii)MG 通報」には対応していません。

・iStorage M シリーズ[\[戻る\]](#)

「(iii)MG 通報」には対応していません。

エクスプレス通報サービスは仮想環境(ゲスト OS)からの通報には対応していません。このため、WebSAM iStorageManager は物理サーバ(非仮想環境)にインストールしてください。

1台のサーバ(WebSAM iStorageManager)で複数の iStorage 装置を管理している場合、1時間以内に異なる iStorage 装置で複数の同一障害が発生した場合、2 件目以降の障害の通報が抑止されます。

(通信負荷を軽減するための、エクスプレス通報サービスの仕様です。)

エクスプレス通報サービスを使用せずに各 iStorage 装置からメール通報を行う機能がありますので、採用される通報方式をご検討ください。

・iStorage V シリーズ[\[戻る\]](#)

「(iii)MG 通報」には対応していません。

「(i) ESMPRO/SA から通報」で「(C) ダイヤルアップ通報」の組み合わせには対応していません。

ストレージ管理サーバ(Windows)から通報する構成の場合、仮想環境からの通報が可能です。

Syslog サーバ(Linux)から通報する構成では仮想環境からの通報には対応していません。

ストレージ管理サーバまたは Syslog サーバが管理する iStorage 装置において、1時間以内に複数の同一障害が発生した場合、2 件目以降の障害の通報が抑止されます。

(通信負荷を軽減するための、エクスプレス通報サービスの仕様です。)

エクスプレス通報サービスを使用せずに各 iStorage 装置からメール通報を行う機能がありますので、採用される通報方式をご検討ください。

・iStorage NAS オプション[\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

・iStorage T シリーズ[\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

・iStorage HS シリーズ[\[戻る\]](#)

HS Lite 以外はエクスプレス通報サービスには対応していません。

各 iStorage 装置から通報を行う機能があります。

・予備系に切り替わるシステム[\[戻る\]](#)

SAN ブートなどの機能を使い、障害発生時に予備系に切り替わるよう、冗長構成を組んでいるシステムの場合、

「(i) ESMPRO/SA から通報」または「(ii) ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由での通報」と「(iii)MG 通報」を併用するようにシステム構築してください。

致命的な障害によってサーバがシャットダウンした場合、ESMPRO/SA からの障害通知は次回起動時に過去の障害として通報します。

予備機に切り替わり、障害発生装置の OS 再起動が行われない場合、ESMPRO/SA からは障害が通報されません。

・高可用性サーバ(R31Aa,R32Aa) [\[戻る\]](#)

通報ルートは「(iii)MG 通報」のみの対応となります。

詳細は、下記サイトを参照してください。

[【高可用性サーバ\(R31Aa,R32Aa\)】SNMP Trap 設定手順、エクスプレス通報導入手順](#)

(1) ESMPRO/SA 直接通報で OS が Windows 系の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. ESMPRO/ServerAgent(Service)のインストール
2. RAID や UPS 等監視用ソフトウェアのインストール
3. エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のインストール

関連マニュアル/モジュール

[型番・モデル名から探す](#)

型番・モデル名で検索し、装置インストレーションガイドにあるバンドルソフトウェアのインストールから関連マニュアル/モジュールを参照してください。

製品マニュアル



(モデル名) ユーザーズガイド



例)

・ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent

- インストレーションガイド(Windows 編)
2章 バンドルソフトウェアのインストール

[ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent ダウンロード\(ドキュメント、インストールモジュール\)](#)

・ディスクアレイ関連

- Smart Storage Administrator ユーザーズガイド
- Universal RAID Utility ユーザーズガイド

・エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス

- [エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

ご利用の通報手段に合わせたモジュールをダウンロードしてください。

(A)HTTPS 通報:エクスプレス通報サービス(HTTPS)

(B)メール通報・ダイヤルアップ通報:エクスプレス通報サービス

・装置情報収集ユーティリティ(Windows 版)

- [NEC サポートポータル](#)

NEC サポートポータル上部の「NEC サポートポータル内検索」から装置情報収集ユーティリティを検索し、

コンテンツに記載の対象機器と OS、インストールモジュールのバージョンを確認の上、必要に応じて適用してください。

(2) ESMPRO/SA 直接通報で OS が Linux 系の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. ESMPRO/ServerAgent(Service)のインストール
(エクスプレス通報サービスも同時にインストールされます)
2. Universal RAID Utility 等監視用ソフトウェアのインストール

関連マニュアル/モジュール

[型番・モデル名から探す](#)

型番・モデル名で検索し、装置インストールガイドにあるバンドルソフトウェアのインストールから関連マニュアル/モジュールを参照してください。

製品マニュアル



(モデル名) ユーザーズガイド



例)

- ・ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent
 - インストールガイド(Linux 編 RHEL8.1 版)
2章 バンドルソフトウェアのインストール

[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) ドキュメント](#)

ドキュメントはエクスプレス通報サービス セットアップガイド(Linux/VMware 編)も掲載しています。

[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) モジュール](#)

ESMPRO/ServerAgent(Service)のモジュールにエクスプレス通報サービスを含みます。

- ・ディスクアレイ関連
 - Smart Storage Administrator ユーザーズガイド
 - Universal RAID Utility ユーザーズガイド

(3) ESMPRO/SA 直接通報で VMware ESX4 の場合[\[戻る\]](#)

本構成はサポート終了しました。

(4) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Windows 系の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. 中継マシンへの ESMPRO/ServerManager のインストール
2. 中継マシンへの WebSAM AlertManager のインストール
3. 監視対象への ESMPRO/ServerAgent(Service)のインストール
4. 監視対象への Universal RAID Utility 等監視用ソフトウェアのインストール
5. 監視対象へのエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のインストール

関連マニュアル/モジュール

<監視対象向け>

[型番・モデル名から探す](#)

型番・モデル名で検索し、装置インストールガイドにあるバンドルソフトウェアのインストールから関連マニュアル/モジュールを参照してください。

製品マニュアル



(モデル名) ユーザーズガイド



例)

- ・ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent
 - インストールガイド(Windows 編)
2章 バンドルソフトウェアのインストール
[ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent ダウンロード\(ドキュメント、インストールモジュール\)](#)
- ・ディスクアレイ関連
 - Smart Storage Administrator ユーザーズガイド
 - Universal RAID Utility ユーザーズガイド
- ・エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス
 - [エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
ご利用の通報手段に合わせたモジュールをダウンロードしてください。
(A)HTTPS 通報:エクスプレス通報サービス(HTTPS)
(B)メール通報・ダイヤルアップ通報:エクスプレス通報サービス
- ・装置情報収集ユーティリティ(Windows 版)
 - [NEC サポートポータル](#)
NEC サポートポータル上部の「NEC サポートポータル内検索」から装置情報収集ユーティリティを検索し、コンテンツに記載の対象機器と OS、インストールモジュールのバージョンを確認の上、必要に応じて適用してください。

<中継マシン向け>

・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

SM 経由の通報を行う場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。

中継マシンの ESMPRO/ServerManager を最新版にアップデートしてください。

なお、中継マシン自体の監視用にエクスプレス通報サービスもしくはエクスプレス通報サービス(HTTPS)がインストールされている場合、インストールされている通報サービスのアップデートでも通報モジュールの最新化が可能です。

・WebSAM AlertManager : ご購入された ソフトウェア・パッケージをご使用ください。

・[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

設定については「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS) インストールガイド」のご利用の通報手段のマネージャ経由の設定を参照願います。

(5) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Linux 系の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. 中継マシンへの ESMPRO/ServerManager のインストール
2. 中継マシンへの WebSAM AlertManager のインストール
3. 監視対象への ESMPRO/ServerAgent(Service)のインストール
(エクスプレス通報サービスも同時にインストールされます)
4. 監視対象への RAID や UPS 等監視用ソフトウェアのインストール

関連マニュアル/モジュール

<監視対象向け>

[型番・モデル名から探す](#)

型番・モデル名で検索し、装置インストールガイドにあるバンドルソフトウェアのインストールから関連マニュアル/モジュールを参照してください。

製品マニュアル

↓

(モデル名) ユーザーズガイド

↓

例)

・ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent

– インストールガイド(Linux 編 RHEL8.1 版)

2 章 バンドルソフトウェアのインストール

[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) ドキュメント](#)

ドキュメントはエクスプレス通報サービス セットアップガイド(Linux/VMware 編)も掲載しています。

[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) モジュール](#)

ESMPRO/ServerAgent(Service)のモジュールにエクスプレス通報サービスを含みます。

- ・ディスクアレイ関連
 - Smart Storage Administrator ユーザーズガイド
 - Universal RAID Utility ユーザーズガイド

<中継マシン向け>

・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

SM 経由の通報を行う場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。

中継マシンの ESMPRO/ServerManager を最新版にアップデートしてください。

なお、中継マシン自体の監視用にエクスプレス通報サービスもしくはエクスプレス通報サービス(HTTPS)がインストールされている場合、インストールされている通報サービスのアップデートでも通報モジュールの最新化が可能です。

・WebSAM AlertManager : ご購入された ソフトウェア・パッケージをご使用ください。

・[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) ドキュメント](#)

設定については「ESMPRO/ServerAgent(Service) (Linux) ドキュメント」の ご利用の通報手段のマネージャ経由の設定を参照願います。

(6) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、VMware ESX4 の場合[戻る](#)

本構成はサポート終了しました。

(7) MG 通報で 監視対象が VMware ESXi5 以降のサーバ(100 シリーズ)の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. 監視対象マシンの BMC および RAID 監視のセットアップ
2. 中継マシンへの ESMPRO/ServerManager のインストール、セットアップ
3. 中継マシンへのエクスプレス通報サービス(MG)のインストール

関連マニュアル/モジュール

ft サーバ(300 シリーズ)および SIGMABLADE(EM カード)については対象装置別(9),(11)を参照してください。

<監視対象向け>

[型番・モデル名から探す](#)



モデル名で検索し、下記マニュアルを参照してください。

製品マニュアル



ユーザーズガイド



- ・EE3 ユーザーズガイド
- ・iLO ユーザーズガイド

(監視対象の BMC に、中継マシン(ESMPRO/SM)への SNMP Trap 通報の設定が必要です。)

・[RAID システム管理機能 \(VMware ESXi 5 以降\) サポート情報リスト](#)

ESXi 5 以降で RAID 監視、設定を行う場合は、LSI SMI-S プロバイダまたは WBEM プロバイダを別途インストールする必要があります。

使用できるプロバイダはお使いのサーバにより異なりますので、[RAID システム管理機能 サポート情報リスト](#) を参照してください。

また、iLO 搭載装置では WBEM プロバイダではなく、iLO からの SNMP Trap を使用する場合がありますので、詳細については下記サイトを参照してください。

・[RAID 監視通報方式について](#)

<中継マシン向け>

・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

SM 経由の通報を行う場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。

中継マシンの ESMPRO/ServerManager を最新版にアップデートしてください。

・[ESMPRO/ServerManager RAID システム管理機能ガイド \(VMware ESXi5 以降版\)](#)

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[VMware ESXi 搭載装置向け エクスプレス通報サービス\(MG\)関連モジュール・受信情報設定ファイル](#)

ESMPRO/ServerManager Ver5.66 以降では受信情報設定ファイルのみ必要となります。

(注意事項)

iLO 搭載装置用 IML 監視向け通報テーブル(impl.jp.mtb)と iLO SNMP Trap 向け通報テーブル(ilo.jp.mtb)を ilo-impl.jp.mtb に統合して、以下の iLO で追加・更新されたイベント(IML 及び iLO SNMP Trap)に対応しました。

iLO5:ファームウェアバージョン 2.72 以降

iLO6:ファームウェアバージョン 1.30 以降

統合した通報テーブル(ilo-impl.jp.mtb)は、ESMPRO/ServerManager Ver6.62/Ver7.17 以降で使用してください。

統合前の通報テーブル(impl.jp.mtb 及び ilo.jp.mtb)が登録されている場合は以下のマニュアルをご確認いただき、

統合前の通報テーブルを削除してから、統合した通報テーブル(ilo-impl.jp.mtb)を登録してください。

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

→エクスプレス通報サービス(MG)

→エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド

→2 章 インストール

3.2.4 受信情報の設定

(注意)

ESXi のサーバの BMC と RAID コントローラ(SMI-S プロバイダまたは WBEM プロバイダ)の監視を行う場合、BMC-LAN と OS-LAN のそれぞれの IP アドレスでエクスプレス通報サービス(MG)の開局を行う必要があります。

2回開局作業(開局通報まで)を行うこととなりますが、同じ開局ファイルまたは開局キーを使用します。

エクスプレス通報サービス(MG)設定ユーティリティでは、同じ開局ファイルを使用した場合、直前に開局したサーバ名称のみを表示します。サーバ名称の表示が実際と異なる場合がありますが、障害通報には影響ありません。

SMI-S プロバイダまたは WBEM プロバイダのバージョンは、中継マシンの ESMPRO/ServerManager のバージョンと依存関係があります。

上に記載のバージョン組み合わせの資料を参照ください。

HCS のクラスタノードの HDD 障害通報は、ノード本体とは別に、個別対応が必要になります。弊社営業にご相談ください。

(8) MG 通報で 監視対象が EE3(7)以外)搭載装置の場合[\[戻る\]](#)

インストール手順

1. 監視対象マシンの BMC および RAID 監視のセットアップ
2. 中継マシンへの ESMPRO/ServerManager のインストール、セットアップ
3. 中継マシンへのエクスプレス通報サービス(MG)のインストール

関連マニュアル/モジュール

<監視対象向け>

[型番・モデル名から探す](#)



モデル名で検索し、下記マニュアルを参照してください。

製品マニュアル



ユーザーズガイド



- ・EE3 ユーザーズガイド
- ・iLO ユーザーズガイド

・Server Configuration Utility ユーザーズガイド

(監視対象の BMC に、中継マシン(ESMPRO/SM)への SNMP Trap 通報の設定が必要です。Server Configuration Utility をインストールすることで、OS 起動中に EE3 の設定が可能になります。)

<中継マシン向け>

・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

SM 経由の通報を行う場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。

中継マシンの ESMPRO/ServerManager を最新版にアップデートしてください。

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[VMware ESXi 搭載装置向け エクスプレス通報サービス\(MG\)関連モジュール・受信情報設定ファイル](#)

ESMPRO/ServerManager Ver5.66 以降では受信情報設定ファイルのみ必要となります。

(注意事項)

iLO 搭載装置用 IML 監視向け通報テーブル(iml.jp.mtb)と iLO SNMP Trap 向け通報テーブル(ilo.jp.mtb)を ilo-iml.jp.mtb に統合して、以下の iLO で追加・更新されたイベント(IML 及び iLO SNMP Trap)に対応しました。

iLO5: ファームウェアバージョン 2.72 以降

iLO6: ファームウェアバージョン 1.30 以降

統合した通報テーブル(ilo-iml.jp.mtb)は、ESMPRO/ServerManager Ver6.62/Ver7.17 以降で使用してください。

統合前の通報テーブル(impl.jp.mtb 及び ilo.jp.mtb)が登録されている場合は以下のマニュアルをご確認いただき、統合前の通報テーブルを削除してから、統合した通報テーブル(ilo-impl.jp.mtb)を登録してください。

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

→エクスプレス通報サービス(MG)

→エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド

→2章 インストール

3.2.4 受信情報の設定

(9) 監視対象が FT サーバ(300 シリーズ)の場合[\[戻る\]](#)

[型番・モデル名から探す](#)



モデル名で検索し、OS に応じて下記マニュアルを参照ください。

<Windows モデル>

製品マニュアル



ユーザズガイド



・[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) インストレーションガイド\(Windows 編\)](#)

<Linux/VMware モデル>

製品マニュアル



ユーザズガイド



・[エクスプレス通報サービスセットアップガイド](#)

・[インストレーションガイド](#)

エクスプレス通報の通信のため、ファイアウォールの設定変更(ポートの開放)が必要となる場合があります。

設定の詳細については、監視対象装置のユーザズガイドの下記項をご参照ください。

Linux モデル : [ESMPRO/ServerAgent のインストールを終えた後の設定](#)

VMware モデル : [ft 管理アプライアンスのファイアウォール設定を変更する場合](#)

(10) 監視対象が NX7700x シリーズの場合[\[戻る\]](#)

・ [マニュアル、技術情報ダウンロード](#)

<Windows 系の場合>

- ・ [エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\)/エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

<Linux 系の場合>

- ・ [ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) ドキュメント](#)

ドキュメントはエクスプレス通報サービス セットアップガイド(Linux/VMware 編)も掲載しています。

- ・ [ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) モジュール](#)

モジュールはエクスプレス通報サービスを含みます。

(注意)

エクスプレス通報サービス(HTTPS)の場合、通報時にログ採取を試みますが、システム構成など環境によっては、ログ採取がタイムアウトする場合があります。下記の設定を行うことで、タイムアウトの発生を抑えることができます。

以下のディレクトリにある、AMHTPHBI.INF、AMHTPLOG.INF を下記内容に変更します。

%EsmDir%\AlertMan\Work\WebReprt

または、%ESMPRO%\AlertMan\Work\WebReprt

例 : C:\ESM\AlertMan\Work\WebReprt

または、C:\Program Files\ESMPRO\AlertMan\Work\WebReprt

AMHTPHBI.INF の Tools セクションの変更

[Tools]

Command=""

LogFile=""

Directory=""

AMHTPLOG.INF の NoneTrouble セクションの変更

[NoneTrouble]

SourceName01=*

EventID01=*

(11) 監視対象が SIGMABLADE の EM カードの場合[\[戻る\]](#)

EM カードからの SNMP Trap 通報を管理マシンを経由して、エクスプレス通報サービスの監視センターに通報することが可能です。管理マシンには、Windows 版 ESMPRO/SM とエクスプレス通報サービス MG 通報モジュールのインストールが必要です。また、EM カード(マスタ/スレーブそれぞれ)について、エクスプレス通報サービスの開局が必要になります。

EM カードの開局申込みは、ブレード収納ユニットの型番・シリアル番号で申請いただき、EM カード(マスタ/スレーブ)の開局は同じ開局ファイルを使用します。なお、エクスプレス通報サービス(MG)設定ユーティリティでは、同じ開局ファイルを使用した場合、直前に開局したサーバ名称のみを表示します。サーバ名称の表示が実際と異なる場合がありますが、障害通報には影響ありません。

<監視対象向け>

・[EM カードユーザズガイド](#)

(EM カードに、管理マシン(ESMPRO/SM)への SNMP Trap 通報の設定が必要)

<中継マシン向け>

SM 経由の通報を行う場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。
中継マシンのエクスプレス通報サービスのモジュールあるいは ESMPRO/ServerManager を、
下記のサイトからダウンロードし、アップデートしてください。

- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[エクスプレス通報サービス\(MG\) 関連モジュール・受信情報設定ファイル](#)

ESMPRO/ServerManager Ver5.66 以降では受信情報設定ファイルのみ必要となります。

(12) 監視対象が iStorage M シリーズの場合[\[戻る\]](#)

ストレージ管理マシンに ESMPRO/SA と WebSAM iStorageManager をインストールする必要があります。また、ストレージ管理マシンは、エクスプレス通報サービスを開局する必要があります。iStorage M シリーズは保守契約が必要です。iStorage としての通報申込み/開局は不要ですが、iStorage の通報設定のため保守サービス会社の現調作業(有償)が必要です。保守サービス会社にご相談ください。

エクスプレス通報サービスは仮想環境(ゲスト OS)には対応していません。このため WebSAM iStorageManager は非仮想環境(物理サーバ)にインストールする必要があります。

<ストレージ管理マシン向け:Windows 系の場合>

・[ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent ダウンロード\(ドキュメント、インストールモジュール\)](#)

対象機器と OS を確認の上、必要に応じて適用してください。

対象機器以外については EXPRESSBUILDER または Starter Pack 内のモジュール/ドキュメントをご利用願います。

・[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

ご利用の通報手段に合わせたモジュールをダウンロードしてください。

(A)HTTPS 通報:エクスプレス通報サービス(HTTPS)

(B)メール通報:エクスプレス通報サービス

・WebSAM iStorageManager: ご購入された ソフトウェア・パッケージをご使用ください。

<ストレージ管理マシン向け:Linux 系の場合>

・[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) ドキュメント](#)

ドキュメントはエクスプレス通報サービス セットアップガイド(Linux/VMware 編)も掲載しています。

・[ESMPRO/ServerAgent\(Service\) \(Linux\) モジュール](#)

モジュールはエクスプレス通報サービスを含みます。

・WebSAM iStorageManager: ご購入された ソフトウェア・パッケージをご使用ください。

(13) 監視対象が iStorage T シリーズの場合[\[戻る\]](#)

監視対象装置の SNMP Trap 通報を管理マシンを経由して、エクスプレス通報サービスの監視センターに通報することが可能です。管理マシンには、Windows 版 ESMPRO/SM とエクスプレス通報サービス(MG)通報モジュールのインストールが必要です。

<管理マシン向け>

- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[ESMPRO/ServerManager で iStorage T シリーズの監視を行っている場合の注意事項](#)
- ・[受信情報設定ファイルと設定手順書](#)

ESMPRO/ServerManager が Ver.6 以降の場合、iStorage T シリーズ 通報インストール手順書を以下の通り読み替えをお願いします。

3. 2 オペレーションウィンドウへのサーバアイコン (iStorage T シリーズ分) の登録
 - ・ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイドを参照。
→第 X 章 アラート受信のみのコンポーネントのセットアップ(章番号 X は、ご利用のバージョンによって異なります。)
3. 3 iStorage T シリーズのエクスプレス通報(MG)開局
エクスプレス通報サービス(MG)インストールガイド最新版の、「2 章 3.開局ツール」を参照してください。
3. 4 受信情報 (iStorage T シリーズ分) の読み込み
エクスプレス通報サービス(MG)インストールガイド最新版の、「2 章 3.開局ツール」を参照してください。

(14) 監視対象が NAS オプションの場合[\[戻る\]](#)

監視対象装置の SNMP Trap 通報を管理マシンを経由して、エクスプレス通報サービスの監視センターに通報することが可能です。

管理マシンには、Windows 版 ESMPRO/SM とエクスプレス通報サービス(MG)通報モジュールのインストールが必要です。

NAS オプション(マスタ/スレーブそれぞれ)について、エクスプレス通報サービスの開局が必要になります。

NAS オプション(マスタ/スレーブ)の開局は同じ開局ファイルを使用します。

なお、エクスプレス通報サービス(MG)設定ユーティリティでは、同じ開局ファイルを使用した場合、直前に開局したサーバ名称のみを表示します。サーバ名称の表示が実際と異なる場合がありますが、障害通報には影響ありません。

<監視対象向け>

[型番・モデル名から探す](#)



モデル名で検索し、下記マニュアルを参照してください。

製品マニュアル



ユーザーズガイド



・EE3 ユーザーズガイド

(監視対象の BMC に、管理マシン(ESMPRO/SM)への SNMP Trap 通報の設定が必要です。)

<管理マシン向け>

- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.7 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[ESMPRO/ServerManager Ver.6 ダウンロード\(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)
- ・[エクスプレス通報サービス\(MG\) 関連モジュール・受信情報設定ファイル](#)

ESMPRO/ServerManager Ver5.66 以降では受信情報設定ファイルのみ必要となります。

(15) 監視対象が UPS の場合[\[戻る\]](#)

UPS 管理マシンに、ESMPRO/AutomaticRunningController (有償) または ESMPRO/UPSManager (有償)、および ESMPRO/SA をインストールする必要があります。

<UPS 管理マシン向け>

・[ESMPRO/ServerAgentService,ESMPRO/ServerAgent ダウンロード\(ドキュメント、インストールモジュール\)](#)

対象機器と OS を確認の上、必要に応じて適用してください。

対象機器以外については EXPRESSBUILDER または Starter Pack 内のモジュール/ドキュメントをご利用願います。

・[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

ご利用の通報手段に合わせたモジュールをダウンロードしてください。

(A)HTTPS 通報:エクスプレス通報サービス(HTTPS)

(注)最新の通報サービスモジュール(EXP_HTTPS.zip)を適用してください。

(B)メール通報:エクスプレス通報サービス

・[ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップカード](#)

・[ESMPRO/UPSManager セットアップカード](#)

(16) 監視対象が NEC Hyper Converged System for VMware vSAN の場合[\[戻る\]](#)

クラスタノードの HDD 障害通報を行うためには Ver3.7 以上である必要があります。

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

(17) 監視対象が iStorage V シリーズの場合[\[戻る\]](#)

ストレージ管理サーバ(Windows)、または Syslog サーバ(Linux)からの通報に対応しています。ストレージ管理サーバおよび Syslog サーバには、ESMPRO/SA、エクスプレス通報サービス(ストレージ管理サーバのみ)、通報連携モジュールのインストールが必要です。また、ストレージ管理サーバおよび Syslog サーバはエクスプレス通報サービスの開局が必要です。

iStorage V シリーズの保守契約が必要です。iStorage としての通報申込み/開局は不要ですが、iStorage の通報設定および通報連携モジュールのセットアップのため保守サービス会社の現調作業(有償)が必要です。保守サービス会社にご相談ください。

iStorage V100/V300 で利用する場合はファームウェアバージョン(DKCMAN バージョン) 93-06-22-40/00 以降の iStorage V100/V300 と、SVP ソフトウェアバージョン 93-06-22-40/00 以降(標準搭載ソフトウェアバージョン Ver1.4 以降)の SVP が必要です。必要バージョンを満たしていない場合はバージョンアップを行ってください。

ストレージ管理サーバに限り、仮想環境からの通報に対応しています。

<ストレージ管理サーバ(Windows)向け:物理サーバの場合>

・ESMPRO/SA、エクスプレス通報サービス

ご利用の通報ルートに応じて以下のいずれかを参照してください。

- (1) ESMPRO/SA 直接通報で、OS が Windows 系の場合

- (4) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Windows 系の場合

・通報連携モジュール

[【iStorage V シリーズ】通報連携モジュール](#)

Windows 版のモジュールおよびマニュアルをダウンロードしてください。

<ストレージ管理サーバ(Windows)向け:仮想サーバの場合>

・ESMPRO/SA

[ESMPRO/ServerAgent for Guest OS\(Windows/Linux\)](#)

ESMPRO/ServerAgent for Guest OS (有償) の購入が必要です。

ご購入されたソフトウェア・パッケージをご使用ください

・エクスプレス通報サービス

ご利用の通報ルートに応じて以下のいずれかを参照してください。

- (1) ESMPRO/SA 直接通報で、OS が Windows 系の場合
- (4) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Windows 系の場合

・通報連携モジュール

[【iStorage V シリーズ】通報連携モジュール](#)

Windows 版のモジュールおよびマニュアルをダウンロードしてください。

<Syslog サーバ(Linux)向け>

・ESMPRO/SA

ご利用の通報ルートに応じて以下のいずれかを参照してください。

- (2) ESMPRO/SA 直接通報で、OS が Linux 系の場合
- (5) ESMPRO/SA から SM 経由の集約通報で、OS が Linux 系の場合

・通報連携モジュール

[【iStorage V シリーズ】通報連携モジュール](#)

Linux 版のモジュールおよびマニュアルをダウンロードしてください。

(18) 監視対象が 高可用性サーバ(R31Aa,R32Aa)の場合[\[戻る\]](#)

監視対象装置の SNMP Trap 通報を管理マシンを経由して、エクスプレス通報サービスの監視センターに通報することが可能です。管理マシンには、Windows 版 ESMPRO/SM とエクスプレス通報サービス(MG)通報モジュールのインストールが必要です。

<監視対象・管理マシン向け>

詳細は、下記サイトを参照してください。

[【高可用性サーバ\(R31Aa,R32Aa\)】SNMP Trap 設定手順、エクスプレス通報導入手順](#)

《注意》 HTTPS 通報の場合、最新のプログラムの適用が必要です[\[戻る\]](#)

Windows 版 HTTPS 通報では、下記のサイトから最新の通報サービスモジュール(EXP_HTTPS.zip)を適用してください。

Ver3.7 以前では正しく開局されない場合があります。

・ [エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

《注意》 ESMPRO/SM 装置で集約して通報する場合、通報モジュールの最新化が必要です [戻る](#)

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)で ESMPRO/SM 装置で集約・経由して通報する場合
および エクスプレス通報サービス(MG)の場合、中継マシンの通報モジュールを最新化する必要があります。
中継マシンのエクスプレス通報サービス(各種)のモジュールあるいは ESMPRO/SM の最新版をダウンロードサイトから
入手し、アップデートをお願いします。

《注意》 通報サービスプログラムと ESMPRO/SA・SM の最新化を推奨します。[戻る](#)

エクスプレス通報サービス、エクスプレス通報サービス(HTTPS)、エクスプレス通報サービス(MG)、
および ESMPRO/ServerAgent、ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerManager は、共通モジュールを使います。
これらの一部のモジュールだけバージョンアップすると、モジュールの不整合が発生することがあります。
そのため、これらの最新版をダウンロードサイトから入手・適用して、常に最新の状態に保つことを推奨します。

(19) ESMPRO/SA からの通報で、開局作業対象が Windows マシンの場合[\[戻る\]](#)

・[エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス\(HTTPS\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

(20) ESMPRO/SA からの通報で、開局作業対象が Linux/VMware(ESX)マシンの場合[\[戻る\]](#)

・[エクスプレス通報サービス セットアップガイド\(Linux/VMware 編\)](#)

(21) MG 通報の場合[\[戻る\]](#)

通報サービスの開局の前に ESMPRO/ServerManager への監視対象の登録が必要となります。

インストール手順

1. 監視対象から ESMPRO/ServerManager への通報設定(ESMPRO/ServerManager セットアップガイド参照)
2. ESMPRO/ServerManager への監視対象サーバへの登録(ESMPRO/ServerManager セットアップガイド参照)
3. エクスプレス通報サービス(MG)の開局(エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド参照)
4. 受信情報設定ファイルの適用(エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド参照)

・[エクスプレス通報サービス\(MG\) \(ドキュメント、最新版モジュール\)](#)

・[ESMPRO/ServerManager セットアップガイド](#)

(22) 監視対象が NEC Hyper Converged System for VMware vSAN の場合[\[戻る\]](#)

エクスプレス通報サービス導入手順書を参照して通報モジュールのインストール・設定・開局作業を行ってください。

・[エクスプレス通報サービス導入手順書](#)

(23) iStorage V シリーズのストレージ管理サーバ(Windows): 仮想サーバの場合[\[戻る\]](#)

開局手順については弊社営業にご相談ください。

以上